

令和6年度 東京都福祉人材確保対策推進協議会 第3回専門部会（若手PT）  
議事概要

1 日時

令和7年3月6日（木） 午後2時から午後4時まで

2 場所

ビジョンセンター西新宿303

3 主な意見

(1) 就活イベント（合同説明会）

- ・新卒採用向けのイベントでは、福祉とは関係ない学部の学生もブースを気に留めてくれていた。観光業等、福祉以外の業界を志望しているが、実は福祉に少し興味があるというような学生もいた。
- ・ツールとして用いた適性診断はプラスに捉えてくれる方が多く有効であったが、診断結果に違和感を覚えた学生もいたようである。
- ・趣味や自分の生活を大切にするような、ライフワークバランスの側面を重視している学生が多かった。業界の有休取得率や残業時間のデータは好反応だった。
- ・勤務している事業所の新卒採用者も、ライフワークバランスを含めた職場内の雰囲気や安心感を重要視しているようで、趣味と一緒に楽しめる職員がいるといった現場の温度感を伝えていけるとよい。
- ・アルバイトを通じて働きやすい雰囲気であることがわかり、就職を決めたという新卒採用者が勤務先に多い。様々な業種・分野があるので、仕事の様子などのショート動画があれば雰囲気は伝わりやすいのではないかと。
- ・自身が都の実施している介護職員就業促進事業を利用して、介護業界に転職したため、転職者向けのイベントでは、そうした「介護職員として働きながら資格取得も支援してもらえる」といった施策の紹介も交えながらPRを実施した。

(2) 大学主催のキャリアセミナー

- ・近年は介護機器等も発展しており、体を酷使する支援ばかりではないため、次世代介護機器などの具体例を添えながら伝えるように工夫した。
- ・嘘偽りなく自分自身の言葉で伝えることを意識し、学生の理解や共感を得られたのではないかとと思う。
- ・福祉の仕事が大変であるというイメージを払拭していくため、特別な資格がなくても就ける仕事であることや、人と話すのが好きな人に向いていることなど、「自分でもできそう」と思ってもらえることが重要ではないかと。

- ・入職した後、福祉サービスの具体的な種別や制度そのものについて、もっと学生の頃に勉強しておけば良かったと思うことがあるため、そういった基本的な知識についても伝えていけるとよい。

### (3) 「介護の日」街頭プロモーション

- ・人と話すこと、話を聞くことといった自分が好きなことが「自分らしさ」であると考え、PR動画のテーマとも合わせ、自分らしく仕事ができるといったことを掘り下げながら魅力を伝えた。
- ・プロモーションに登壇したハローキティの人气が非常に高いことを実感した。撮影会で人だかりができ、足を止めてくれる方もたくさんいたほか、「#なにゆえ私が福祉職」のグッズなど、SNS への広報も含め効果的だったと思う。